

新型コロナウイルス感染症拡大防止について (R2.11.9)

(市長メッセージ)

呉市におきましては、9月23日から10月11日の19日間で、二つのクラスターが発生し、107人の感染が確認されました。

また、この間、新型コロナウイルス感染症でお一人の方がお亡くなりになりました。

お亡くなりになられた方に心よりお悔やみを申し上げますとともに、新型コロナウイルスにより影響を受けているすべての皆様にお見舞いを申し上げます。

呉市では、迅速かつ丁寧な積極的疫学調査等により拡大防止に努めた結果、10月12日以降は新たな感染は確認されておられません。

また、11月9日現在、呉市の治療中の感染症患者は1名となっており、その外の方は、既に治療・療養を終え、退院・退所されておられます。

医療現場の最前線で、新型コロナウイルス感染症の対応に当たっておられる医療機関の皆様、あらためて感謝申し上げます。

今後も、呉市内で感染症患者が散発的に発生する可能性があります。

また、クラスターが起き、9月末のように感染が急速に拡大するリスクもないとは言えません。

感染リスクの高い場面が明らかになりつつありますので、感染拡大をできるだけ防ぐために、市民の皆様、感染リスクの高い場所や行動は控えていただきたいと存じます。政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の提言で示された、別紙1の「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」、そして、別紙2の「感染リスクが高まる5つの場面」を参考にさせていただきたいと存じます。

これから年末に向かい、懇親会や、それに伴う会食・飲酒の機会が増えてくることと思います。

繁華街の店舗を始め、事業者の皆様には、あらためて、各業界のガイドラインを遵守し、感染防止対策を徹底していただきますよう、お願いいたします。

また、市民の皆様には、引き続き、3密を避け、マスク着用、こまめな手指消毒などの基本的な感染防止対策を守り、社会・経済活動に新しい生活様式を取り入れ、積極的に感染防止に取り組んでいただきたいと存じます。

最後になりますが、感染のリスクは誰にでもあります。疫学調査をスムーズに進めるためにも、感染者、医療関係者やそのご家族を誹謗中傷することは決して行わないようお願いいたします。

令和2年11月9日

呉市新型コロナウイルス感染症対策本部

本部長 呉市長 新原芳明

感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

<利用者>

- ・飲酒をするのであれば、①少人数・短時間で、
 - ②なるべく普段一緒にいる人と、
 - ③深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で。
- ・箸やコップは使い回わさず、一人ひとりで。
- ・座の配置は斜め向かいに。(正面や真横はなるべく避ける)
(食事の際に、正面や真横に座った場合には感染したが、斜め向かいに座った場合には感染しなかった報告事例あり。)
- ・会話する時はなるべくマスク着用。(フェイスシールド・マウスシールド※¹はマスクに比べ効果が弱いことに留意が必要※²。)

※¹ フェイスシールドはもともマスクと併用し眼からの飛沫感染防止のため、マウスシールドはこれまで一部産業界から使われてきたものである。

※² 新型コロナウイルス感染防止効果については、今後さらなるエビデンスの蓄積が必要。

- ・換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドライン★を遵守したお店で。
- ・体調が悪い人は参加しない。

<お店>

- ・お店はガイドライン★の遵守を。

(例えば、従業員の体調管理やマスク着用、席ごとのアクリル板の効果的な設置、換気と組み合わせた適切な扇風機の利用などの工夫も。)

- ・利用者に上記の留意事項の遵守や、

接触確認アプリ (COCOA) のダウンロードを働きかける。

【飲酒の場面も含め、全ての場面でこれからも引き続き守ってほしいこと】

- ・基本はマスク着用や三密回避。室内では換気を良くして。
- ・集まりは、少人数・短時間にして。
- ・大声を出さず会話はできるだけ静かに。
- ・共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒の徹底を。

★従業員で感染者が出たある飲食店では、ガイドラインを遵守しており、窓を開けるなど換気もされ、客同士の間隔も一定開けられていたことから、利用客 (100名超) からの感染者は出なかった。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

